

就活日誌

国際社会学科(男)

<内定先>市役所

<選考方法>口頭で説明します。

<就活の流れ>

2014年夏

- ・希望する業界のインターンシップに応募するものの、不合格。

8月頃

- ・問題集・参考書を購入するも、思っていたよりも内容が難しく、なかなかやる気が起きない。ネットにかじりつき、テキストの選択や試験についての情報を得ることに終始する。別の用事で東京などに出た際に大型書店を必ず訪れ、テキストを自分の目で見て選択した。以降、ゼミの活動のために就活を意識する余裕がほとんどなくなる。

12月

- ・学内のイベントにモチベーションのために参加。
- ・この頃まで、通学中の電車内しか勉強時間を取れない。

2015年2月

- ・本格的に試験勉強再開。
- ・JUSTによるグループディスカッションの講座に参加。自分がグループディスカッションが得意であることに気づき、自信を持つと同時に、思いもよらない口癖を指摘され、直すことができてよかった。

3月

- ・就職活動解禁。
- ・マイナビの合同企業説明会に参加してみることで、民間企業にも興味をもつ。
- ・就活サイトにてエントリー開始。

4月

- ・キャリアセンターで集団面接の練習、なぜか緊張しすぎる。
- ・市役所試験の受験申し込み→試験勉強の追い込み。
- ・民間企業の個別企業説明会、ES提出のピーク。

5月

- ・中旬、市役所一次試験。初めての選考であったこともあり、結果が想像できない。
- ・下旬、民間企業を3つほど受ける。うち1つの企業の選考方法が面白く、民間企業における第一希望と決め、他の企業はほとんど練習程度になってしまう。

6月

- ・民間企業の2次選考、3次選考。落ちてしまい、駒がなくなる。
- ・2週間の教育実習。
- ・市役所2次試験。日程が同じ自治体があったが、可能性や将来のことについて考えて、そのまま選考を進めることにした。教育実習明けですぐに2次試験だったため、実習前までに対策できたことを見直すことと、実習の疲れをいやすことに専念して、当日を迎えることになる。ただし、面接だけは別日程になっており、キャリアセンターの面接練習に無理矢理入れてもらい、練習をする。面接の直前に不安なことがあったが、終わってみると、今回は手ごたえがあったように感じた。

7月

- ・選考中の市役所以外、駒が残っていないことに対して、急に焦り始める。→地方銀行や大手などに申し込んでみるも、あまりうまくいかない。
- ・他の市役所を受け、手ごたえを感じるも、落ちる。試験の内容は他の受験者にとっても易しめだったようで、点数が足りなかった。

8月

- ・上旬、いよいよ市役所最終試験。卒論でも迷っていたこともあり、焦りでいろいろ悩んでいたが、ここまできたら自然体が一番、正直に思うことを話して来ようと決め、挑んだ手ごたえはそれなりによかった。最終面接の日程と、わずかに残っていた民間企業の面接が重なってしまったため、いよいよ覚悟を決める。
- ・下旬、合格通知を受け取る。いざその時を迎えると信じられなくなってしまったが、もう卒論に全力を注がないと時間がないことに気づき、切り替える。

<企業選択で大切にしたこと>

業界研究や、業界を絞ることをしなかった代わりに、働く場所や、その企業で

働く人の考え方や、話し方、生き方をじっくりと観察して、直感でその人と働きたい、その人のように働きたいなどを感じるかなどに絞りました。無理矢理まとめるとすれば、自分がどのように生きていきたいかということ、企業を選ぶ軸にしたということです。

それから、人によって考え方は違うと思いますが、たとえ業界を絞った後でも、就活サイトや誰かから聞いた情報で少しでも気になれば、調べたり、選考を受けたりすると思います。なぜその業界じゃなければいけないのかを見つけることができたり、面白い選考や企業選びに役立つお話を聞けたりするかもしれないからです。

<その他伝えておきたいこと>

・公務員試験勉強に関すること

3月から本格的に試験勉強をしたのですが、試験がある時間に合わせて、午前中は早く起きて必ず勉強をし、午後は卒論のための文献を読んだり、インターネットで調べたりしていました。たまに就活サイトをチェックもしました。

・就活中のアルバイトについて

バイトは試験勉強に専念するために、3月から7月くらいまではしないようにしようと思っていたら、いつの間にか後期が始まってしまったのですが、よほどのピークでない限り、バイトはしていたほうが一日のリズムが生まれたり、時間を管理することができたり、それから外に出て他の人と話すきっかけにもなったりします。自分だけかもしれないですが、特に公務員試験の対策をしていると部屋にこもりがちになります。面接の日に久しぶりに人と話したなということもありました。

・就活に関する不安について

就活中はESってどう書くの？身だしなみは？履歴書の書き方や送り方は？など色々わからないことが出てきたり、これでいいのかと悩んだりすることもあると思います。そのときは、たいていネットで検索すれば解決することもあるのですが、無駄に不安をあおるような内容や、こだわりが多すぎる例も出てきます。大手企業や大人気の企業はわかりませんが、基本的に無礼な作法でなければネットに載っているような方法でなければ落ちてしまうわけではありません。検索するとき、何が失礼にならないのかだけに気を付けてみていればいいと思います。また、キャリアセンターやハローワークに行けば、相談や質問、面接の練習などを受け付けています。

・面接に関して

面接は志望動機やその企業で何をしたいのか、どんな人間になりたいのかといったことから、過去の経験で嬉しかったこと、頑張ったこと、恥ずかしかったことなどを聞いてくることもあります。経験を話す類の質問には、どのようなことがあり、それは事前にこういったことがあり、そのときにどう動いて、その結果どうなったのか、だからこう感じた。その後はこういう考え方につながっている、あるいはこういう経験に役に立ったというような流れを整理しておく、追加で掘り下げるような質問をされても困りませんし、企業を選ぶにあたって大切にしたいことに気付くきっかけになるかもしれません。

また、面接では何を話したいのかを明確にして、相手に伝わりやすいように話す必要があります。そして印象に残ったほうが有利だとは思いますが。そのために色々と話し方を工夫しなければならないため、「こう話せば面接は受かる！」といった記事や本が出ていたりするのですが、多少盛ることはあっても、おおよそ本当のことを話していたほうが、あとでつじつま合わせなどをしなくてよくなります。なにより、実際に働くことになる会社を選ぶわけですから、あまり自分と違うことを話してしまうと、公開する可能性が高くなるのではないのでしょうか。

最後に面接は練習しておいたほうが、不安になりにくく、自信を持って挑めると思います。時間や就活拠点の関係で、模擬面接をするのが難しい人は一つひとつの面接が終わったら振り返るなどして、改善していけばよいと思います。初めのほうには、自分は何がしたいのか、どこで働きたいのかなど、まとまらないかもしれませんが、面接の場数を踏むうちに、この会社とは合わないかもしれない、こういうことがしたい、これだけはしたくない、などがある程度定まってくると思います。

※就活に疲れたら、面接が一つ終わったら、自分にいちいちごほうびをあげてください。私は面接の感触がどうであれ、色々なお店を見つけて、普段はケチって買わないようなパンやケーキ、紅茶などを買ってルンルンで家に帰っていました。